

7000個の手作りランタン鮮やかに



▲つくば竹園学園制作による「灯〜明日に魅せるつくば」(センター広場)

12月12日(土)13日(日)、7回目となる「ランタンアート2015」を開催しました。空模様を心配しながらの開催でしたが、2日目の終了間際に雨がぱらつく程度で、両日ともに暖かい穏やかな天候となり、来場者数は過去最高の1万5千人となりました。

<ランタンの制作者>

市内小中学校 24校	4,300
協議会会員	1,600
ワークショップ	600
コンテスト出展作品	300
タイトル等の装飾用	200
合計	7,000

飾ったランタンの数も過去最高の7,000個となりました。中でもつくば市内の小中学校の参加数は年々増えており、今年は今小中学校の約半分にあたる24校が参加しました。また、センター広場ではつくば竹園学園が、1,300個のランタンで見事な絵を描きました。

協議会会員は今年も20社の参加がありました。B i V iつくば、筑波大学、つくば市国際交流協会、つくば献血ルーム、つくば市立中央図書館など、ランタンアート会場に面している会員の参加が増えま



茨城県つくば美術館の屋外展示場では、筑波大学芸術専門学群の学生が制作した「光を使ったアート作品」が展示され、1日目には学生による作品のプレゼンも行われました。



美術館前には、11月21日(土)に美術館で実施した「ステンシルランタンアートワークショップ」の作品も飾られ、美術館らしいアート作品が、来場者の目を楽しませました。

<水上ランタンもお目見え>

ペットボトルで作るランタンはどれも同じ大きさですが、設置する場所や設置の仕方によってかなり印象が違います。切り抜きランタンのスリットから光が美しく漏れる暗い場所、障子紙に描いた絵柄がきれいに見える明るい場所、ランタンがガラスに反射する建物のウインドウ前など、様々な場所の条件を利用したディスプレイの工夫もランタンアートの醍醐味です。

今年、企画を検討する際に、「水辺に映るランタンの美しさを表現できたら」という案があり、中央公園の池に浮かべる「水上ランタン」に初挑戦しました。2日目のラ



[学生の企画で実現！水上ランタン]

今年初の試みとなった「水上ランタン」は、中央公園にももっと多くのお客さんに足を運んでもらうための案として出てきた企画です。筑波学院大学の学生が中心となって企画しました。

ランタンが安全に「水上」に浮くしくみ、中央公園の大きな池に映える大きさ、カバーの柄など、9月から試行錯誤を繰り返しました。その結果、ロウソクを4本使い、カバーも通常の絵付きランタンの4倍の大きさのランタンを制作しました。

また、実際にランタンを池に流す実験を何度か行いましたが、なぜか実験の日には風がなく、本当にランタンが池の上を流れるのか、不安を抱えたまま本番を迎えることになりました。当日は予想以上に風をうけてランタン

スト30分という時間限定での実施でしたが、多くの来場者が集まり、ゆったりとランタンの流る様を楽しんでいました。

<ゆったり楽しむイベントに>

今年は、ランタンの鑑賞だけでなく、来場者が当日楽しめる企画を工夫しました。「ランタン当日工作コーナー」は、B i V iつくばの2階スペースをお借りして実施しました。兄弟が小学校でランタンを作ったので自分も作りたいという弟妹や、ランタンアートを見に来たカップルなどが、その場で作って自分で設置、点灯する工程まで楽しんでいました。2日間で100個近くのランタンが制作・設置されました。



ランタンステーションでは、メガネを通してランタンやイルミネーションを見ると不思議な光景が広がる「不思議メガネ」を貸出しました。子どもから大人まで大人気で、かわるがわるメガネをかけて「ここを見ると綺麗だよ！」などと声をかけ合う姿や、メガネ越しに写真を撮る姿も見られました。

さらに、センター広場やライトオン前では、キャロリングや音楽、ジャグリングなどのストリートパフォーマンスもあり、ランタンを見ながらちょっと足を止め、パフォーマンスを楽しむなど、ゆったりと楽しめるイベントに成長しつつある手ごたえを感じました。

が早く流れ、すぐに池の端に流れ着いてしまいました。そのため、ランタンをもう一度スタート地点に戻して流すことになりましたが、大学生と中学生が力を合わせてそれを実行し、来場者にゆっくりと楽しんでいただくことができました。



▶ 試作段階の水上ランタン

<様々な力が繋がって形に>

「ランタンアート」の実現は、協議会会員はもちろんのこと、地域や学校の協力なくしては不可能です。



例えば「落ち葉清掃」。屋外で火を使う「ランタンアート」には道路の落ち葉は厄介もの。安全に開催するには、会場となるペデストリアンデッキやセンター広場を清掃しなければなりません。今年

「ランタンアート」4日前の12月8日(火)に実施し、パッカー車3台と、協議会会員40人、つくば竹園学園の8年生約180人で清掃しました。普段の道路清掃では行わない「植込み」の落ち葉まで掻き出す作業はなかなかの重労働で、冬なのに汗をかくほどでしたが、大勢での作業のおかげで約2時間で終了しました。

(この2日後に強風が吹き荒れ、街路樹に残っていた葉がまたどっさり落ちたおかげでランタンアート初日はこれの清掃から始めなければなりませんでしたが・・・)

「ランタンアート」の広報活動では、つくば竹園学園の生徒が大活躍。ランタンアートにつくばスタイル科の授業で参画するのは今年で3年目。先輩達から受け継いだ課題を踏まえ、今年も早い時期から「広報活動」を始めました。独自で制作したポスターを学校の児童・保護者へ配付したり、イメージキャラクターを考案したり、告知動画を作成しYoutubeへUPしたりと、PRのノウハウは大人顔負けです。ランタンアート当日もセンター広場でその映像を流し、会場の雰囲気盛り上げました。



そしてなんといっても、ランタンの設置・点灯作業が一番多くの手が必要となります。今年も過去最高の7,000個のランタンを並べるとあって、点灯時間までに全て設置できるか心配でしたが、協議会会員、つくば竹園学園の8年生・4年生、吾妻・竹園東・竹園西小学校の保護者・児童ボランティア、筑波学院大学の学生、協議会の市民サポーターなど、約250人の協力によって、無事予定時間に点灯することができました。

近隣小学校の児童たちの中には毎年手伝いに来てくれる児童もあり、見るだけでなく自分たちの手で作っていく「ランタンアート」を楽しんでくれるようです。地域が一体となって実施できていることがイベントの一番の成果でしょう。



▲つくば竹園学園8年生と一緒にランタンを並べる小学生たち。

<広告・協賛ありがとうございました>

つくば都市交通センター、筑波都市整備、レクスつくば、ACCS、広沢土地倉庫、筑波学院大学、筑波学園ホテル

「ローラ」です。ランタンアートのキャラクターとして、つくば竹園学園の生徒さんが考えてくれたよ！ロウソクのランタンで、「ローラ」だよ。

動画は、YouTubeから「ランタンアート2015」を検索すると見られます！

今後の協議会の予定

◎2/11(木・祝) 梅に願いを
[場所：クレオ前広場]
筑波山梅まつりのイベントとして実施する、つくば観光コンベンション協会との連携イベント。カードに願い事を書いた人には、抽選で景品をプレゼント。願い事は、筑波山神社に奉納します。



▶ 昨年の様子

○3/12(土) ふるさとつくばゆいまつり
[主催：ふるさとつくばゆいまつり実行委員会]
[場所：つくばセンター広場] ※協議会後援
■3月 運営会議

【編集後記】毎年11月頃に、ランタンアートの告知掲載を多数の媒体にお願いをしているのですが、今年も逆に「掲載したいのですが」という問い合わせをたくさんいただきました。「広報つくば」12月号にも大々的に1面に掲載され、つくばの冬の風物詩の一つとして定着してきたことを改めて実感しました。